

案件（2）令和2年度の環境施策の進捗と評価
に対する意見内容と対応方針について

①「たかつきの環境」について

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
1	10	101-1 市民公益活動サポートセンター運営支援について	サポートセンターの利用状況は、直接環境活動保全とは結び付きません。他の担当課の報告書にも同じものが掲載されていますが、何を以て環境活動保全の成果と言えるのかが分からず評価のしようもありませんし、逆に環境活動保全に取り組む諸団体の成果も見えてきません。サポートセンターが協働等に取り組んでいる取組など環境保全活動にしばった報告に改善してください。	いただいたご意見を踏まえ、評価指標の見直しを検討します。
2	10	101-1 市民公益活動サポートセンター運営支援について	「市民公益活動サポートセンター運営支援」で、登録団体数とありますが、実際には、この中で環境団体は何団体でしょうか。明示が必要です。	令和3年度時点で、市民公益活動サポートセンターの登録団体 203 団体の内、環境活動団体は8団体です。
3	10	101-3 たかつき環境行動ネットワークの運営について	「たかつき環境行動ネットワーク」の会議開催数が、年に1回でよろしいのでしょうか。またどのような内容が検討されたかは、どこかに記載があるのでしょうか。	定例の会議としては年1回で、主に活動内容や協働して行うイベントについて意見交換などを行っています。このほか、イベントの具体的な打合せやイベントの場などで、随時、団体間の交流などを図り、連携力（ネットワーク化）の強化を図っています。 なお、市民団体間の情報交換の場であることから、定例の会議内容について記載の予定はありません。

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
4	14	104-1 環境教育の支援について	「環境教育の支援」とありますが、出前授業数は平成 30 年度の数値は何回でしょうか。回数など数値で評価する必要があります。	環境教育を支援する出前授業は、各校で実施しているため、実績は取りまとめていません。 今後は、出前授業数の把握など、いただいたご意見を踏まえ、評価指標の見直しを検討します。
5	14	104-2 教職員への環境教育研修について	「教職員への環境教育研修」について、満足度も大事ですが、研修受講者数はいかがでしょうか。またその下の「教育センター」についての記述も、定性的だけでなく、定量的にどうだったのでしょうか。	教職員への環境教育研修の研修受講者数は、令和 2 年度は 11 名、令和元年度は 25 名、平成 30 年度は 14 名です。いただいたご意見を踏まえ、評価指標の見直しを検討します。
6	22	202-7 企業定着促進補助について	企業定着促進補助事業について、3 年連続で実績 0 件となっている。コロナウイルス感染症拡大による経済の停滞等により補助対象となる設備更新をする企業がなかったとしているが、コロナウイルスが蔓延する以前より制度が利用されている形跡がない。整備が進んで必要な企業が減少しているということならば問題はないと考えるが、周知の方法や制度の使いにくさなどが原因となっている可能性はないのかが懸念される。	企業へのヒアリング等の結果から、操業環境の整備が一定整っている企業が多いことが、本補助制度の利用が少ない要因であると考えています。一方で、令和 3 年度は 1 件の制度利用があり、同制度を必要とする企業もあることが伺えます。 周知方法としては、市ホームページでの情報発信及び企業訪問による直接の制度紹介を行っているところです。 なお、今後は、新型コロナウイルス感染症の影響から通常の訪問が難しい状況が想定されるため、個別企業への電話やメールでのヒアリング等を活用するとともに、ホームページの強化やメールマガジン等による情報発信、商工会議所等の関係機関と連携した発信に取り組んで参ります。
7	24	204-2 犬のふん放置禁止啓発活動について	評価文について「目標値への達成が出来ていないが」を啓発用具の前に追加してはどうか。 評価文と達成状況「×」と整合が取れていない。	ご意見のとおり、目標達成状況が未達成にも関わらず、事業目的を達成している旨の評価文は整合が取れていません。 今後は、評価文と達成状況の整合性にも留意して資料に記載します。

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
8	25	206 ヒートアイランド対策の推進について	<p>「緑のカーテン大作戦」の推進はとても良いと考えます。</p> <p>これに併せて「打ち水作戦」をもっと進めて頂きたい。「たかつき祭り」でデモンストレーションとして、子供たちに経験してもらったが、近年、コロナ禍で中止になり、出来ていません。</p> <p>この時の結果として、瞬時 気温が数度低下し、さわやかさを感じ取りました。</p> <p>市役所の行事において、高温時（5月～9月）に「打ち水」のデモを行い 市民に実感してもらい、自宅にてふる水や洗い水を夏場道路に散水してもらうようお願いする。そして一時的にしろ、街の気温を低下させる試みが必要と考えます。</p>	<p>「打ち水」については、暑熱対策に有効な手段でもあることから、関係者の理解と協力を得ながら、啓発を進めて行きたいと考えています。</p>
9	41	407-1 市営バスの利用促進について	<p>「市営バスの利用促進」について、チラシの配布枚数ではなく、何人が利用したか、定量的な数値が必要です。同様にその下の「環境定期券」の利用状況も数値化ができるのではないのでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、第2次高槻市環境基本計画〔令和4年3月改訂版〕に基づく「たかつき環境行動計画」のプログラム内容、評価指標の見直しを行って参ります。</p>
10	42	408-2 自転車交通安全教育の充実について	<p>自転車交通安全教育の充実については、実施回数で成果を図ると共に意識変革などの成果の図り方はできないものではないでしょうか。自転車マナーの悪さを嘆く市民の声をよく聞きますし、実際に危険を感じる事がよくあります。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、評価指標の見直しを検討します。</p>
11	42	408-1 駅前放置自転車・ミニバイクゼロ運動の推進について	<p>前から出ておりますが、実際に環境面から把握するとすると、自転車の利用台数、人キロなどの数値をたとえ概略であっても 数値化するべきでしょう。</p>	<p>既存の統計データから歩行者の人キロや自転車の台キロを把握することは困難と考えています。また、このために新たにデータを収集することは費用対効果面から課題が多いことから、長期的な検討課題と認識しています。</p>

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
12	43	409-1 安満遺跡公園の整備について 409-2 公園整備によるみどりと憩いの空間の創出について	安満遺跡公園の整備について、達成されたことは分かりますが、乳幼児づれのご家族から遊具がないことや、ベビーカーで利用しづらいといった声を再三相談されます。乳幼児や障がい児も利用しやすい包摂的な公園づくりを目標に据えてください。	ご意見として、関係課に伝えます。
13	44	410-3 街路緑化の推進について	以前、この審議会において「JR 高槻駅南口」JR 東海道線南側歩道に植わっていた「クロガネモチ」が安満遺跡公園への通路（乳母車や障害者用車いすのスペース）を確保するために北側のみ、撤去したと答弁頂きました。その時、空地が出来れば 再度植樹をしてほしいと伝えました。この度、公園導入路完成の結果、クロスパル前に街路樹として「クロガネモチ」を数本植樹していただきました。ありがとうございました。感謝です。少しでも市内の緑化に役立ちます。	ご意見として、関係課に伝えます。
14	44	410-2 自治会等による地域の花壇づくりの推進について	緑化功労者表彰を行ったことを評価します。コロナ禍で目標を達成できなかったとありますが、市民協働による地域緑化は意識啓発にもつながりますし、財源が乏しいNPO への具体的支援にもなります。引き続き取組を推進してください。	ご意見として、関係課に伝えます。
15	49	502-1 給食残渣の堆肥化について	給食残渣の堆肥化のトン数が年々減っているのは、コロナ禍による臨時休業によるもののでしょうか？コロナ禍が収束した後も、環境教育の一環としても取組を拡大させてください。	給食残渣の堆肥量が近年減っているのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施された学校一斉臨時休業に伴う給食実施回数の減少による影響が大きいと考えています。 (令和2年度は4月から6月中旬までが給食中止、令和元年度は3月が給食中止)

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
16	49	502-1 給食残渣の堆肥化について	給食残渣の堆肥化について、実際に何校で実施したのでしょうか。また、残渣発生量中の堆肥化量は何%でしょうか。	令和2年度の給食残渣の堆肥化は4校で実施し、残渣発生量中の堆肥化量は約10%です。
17	49	502-2 有機質廃棄物の堆肥化促進について	高槻市は、マンション住民よりも、戸建て庭付き住居に住んでいる住民の方が多いと想像します。市域から発生する廃棄物量の内、厳密な数値は持ち合わせませんが、3割程度は生ごみだと考えられますから、コンポスト化は減量の重要な施策の一つだと思います。「生ごみ堆肥化容器」の普及促進と、使用時の諸注意を伝えることが重要だと考えます。(施策を行った回数などではなく、施策の結果、どの程度減量したかで評価すべきでしょう。)	ごみの分別や減量化のため、引き続き、生ごみ堆肥化容器の普及に努めてまいります。 なお、本施策による成果指標としては、本来ごみの減少量を評価すべきですが、配布家庭で生ごみの量を計量してもらうことや全体的なごみ量から本施策による生ごみ削減量を算出することは難しいことから、活動指標で評価しており、成果指標の設定は今後の課題と考えています。
18	50	503-2 地域リサイクル活動の促進について	以前に市役所周辺でフリーマーケットが開催されており大変人気がありました。啓発にもなりますので、市が率先して定期的なフルマーケットの開催に取り組んでください。	ご意見として、関係課に伝えます。
19	53	601-1 新エネルギー設備設置等補助について	新エネルギー設備設置補助で、令和2年度にエネファームの補助が大幅に増加している理由とエネファームの発電量は実績値の発電容量に含まれていないのか、またその理由もお示しください。	令和2年度にエネファームが増加したのは、令和元年度までは2種類以上での機器の設置を条件としていたものを、単独設置可能としたため補助件数が増えたものと考えています。 また、表中の発電容量の実績値は、太陽光発電における発電容量を集計したものになるため、エネファーム含め発電量とは異なる指標と考えています。エネファームの発電量をどの様に把握するかは、今後の検討課題と考えています。

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
20	53	601-1 新エネルギー設備設置等補助について 601-2 民間事業者省エネ設備導入支援について	市民や導入する事業者への補助だけではなく、脱炭素化をめざした新たなエネルギー開発に取り組む地元の事業者・所の誘致や補助にも取り組んでください。	脱炭素施策については、さまざまな取組が進められていることから、今後とも効果的な施策を検討して参ります。
21	56	602-4 市営バス運行時の省エネルギー化について	「市営バス運行時の省エネルギー化」はとても大事です。エコドライブの効果はとても大きなものがあります。こうした研修を年間何人の運転手の方が受講しているのでしょうか。	エコドライブを推進する乗務員研修は全運転手が概ね受講しており、令和2年度は262人、令和元年度は264人、平成30年度は264人となります。
22	9～57	プログラムの環境分野別実施状況について	「環境分野別の実施状況」で、新型コロナが主因で目標が達成できなかったものは別枠で表・グラフを表記したほうが状況を把握しやすいかと思えます。	本年度の分野別実施状況では、新型コロナが主要因となって目標が達成できなかったものについては、集計の対象外として整理したところです。ご意見いただきました集計方法については、次年度に評価を行う際に検討します。
23	58	たかつき地球温暖化対策アクションプランの成果指標と進行管理指標について	たかつき地球温暖化対策アクションプランについて、2021年度版から、プランの成果指標と進行管理指標を削除したのは理解に苦しむ。来年度から再掲を強く要請します。	前プランの成果指標は市域の温室効果ガス排出量としており、本年度の冊子ではP59に「2018年度温室効果ガス排出量」として掲載しているところです。また、前プランの進行管理指標については近年のデータの入手状況などを考慮して再整理し、本年度の冊子のP65の「温暖化対策に関する状況」と、P52～の「地球環境」に係る環境施策の実施状況などに分けて掲載することとしていますので、ご理解ください。
24	61	エコハウス補助金の総交付件数について	表「エコハウス補助金など・・・」について、R2の補助金交付件数は317件とありますが、この表の右端に列を設け、総交付件数を書いてはどうでしょうか。	エコハウス補助金については、令和元年度までは2種類以上での機器の設置を条件としていたことなどから、単純に機器の件数を足し合わせた数字が総交付件数になるものではないため、あえて記載をしていません。

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
25	63、64	廃プラスチック組成率の影響による発電量、温室効果ガス排出量の増減について	廃プラスチックが増えると、CO ₂ が増大しますが、かたや、発電量が増大し、CO ₂ を削減することになるので、両者の差し引きでプラスかマイナスか、ということが分かるような注釈などが必要ではないでしょうか。	廃プラスチック焼却に由来する発電電力量は24,336MWhであり、そのCO ₂ 削減効果は8,274t-CO ₂ となります。 CO ₂ を主眼とすると注釈の記載は有効と考えます。一方、廃棄物は発生抑制を基本として取り組んでいることを踏まえると、注釈を入れることで、プラスチックを廃棄しても発電量が増えるから大丈夫という誤解を与える可能性もあることから、今後の検討課題とさせていただきます。
26	65	高槻市域における地球温暖化対策に関する状況について	アからエの施策によって、どれだけCO ₂ が削減されたのか、数値で評価できるものは、するほうが良いのではないのでしょうか。	P65に示している4つの項目のうち、イについては二酸化炭素排出量の削減を試算することが可能と考えており、今後検討して参ります。
27	65	市域における森林の二酸化炭素吸収量について	高槻市の人口約36万人で、家庭部門の排出量が約40万トンであるので一人当たり1.1トン/年だろうか(59頁では3.53トン。)エの森林吸収量が4453トンなので、約4千人分の吸収量に当たり、人口比では、1%程度の吸収です。分かりやすく書く必要があるのではないのでしょうか。	市域の森林による二酸化炭素吸収量は約4,500t-CO ₂ (P65)となっています。これに対して、市域の温室効果ガス排出量は111.4万t-CO ₂ (P59)であり、この0.4%程度が森林に吸収されていることとなります。しかし、このほかにも森林には水源涵養や国土保全など多様な機能があり、これらも含めて森林の果たしている役割を評価することが重要と考えられることから、その具体的な方法については今後検討して参ります。
28	67	たかつきエコオフィスプラン令和2年度の実績の記載内容について	(2)の文章が分かりづらいと思います。前者、後者、とあるが、前者の数字と理由、後者の数字と理由、と分けて書かれた方が分かりやすいでしょう。	本年度は項目ごとの増減をまず示し、その理由を後に示す文章構成としたところですので。ご意見を踏まえ、次年度は文章校正の見直しを検討します。

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
29	67	たかつきエコオフィスパラン 温室効果ガス排出量の図について	「図 温室効果ガス排出量」の平成 29 年で下がり、令和元年で増え、また減少しています。この山谷の理由は何か。説明が欲しいところです。	このグラフからは、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の増減は、一般廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の影響を強く受けることが確認できます。この要因については、P63 で考察している通り、焼却ごみに含まれる廃プラスチックの組成率の変動が影響していると考えています。
30	69	たかつきエコオフィスパラン 施設のエネルギー使用量の図の目標値について	令和 2 年の目標値はいつ設定したものでしょうか。またこれは今後ともしばらくは目標値として置かれるのでしょうか。説明があると助かります。	たかつきエコオフィスパランについては、67 ページに記載していますとおり、平成 27 年度に策定した計画(平成 28～令和 2 年度)に基づき設定した目標値となります。令和 3 年度以降は、「たかつきエコオフィスパラン(令和 3～12 年度)」に基づき取組を進めています。なお、施設の低炭素化については、「施設のエネルギー使用量を 2019 年度から毎年 1%ずつ削減する。」という取組目標を設定しています。
31	71	たかつきエコオフィスパラン 市営バスの評価について	公用車、特に市バスのウエイトが大きいです。市バスの乗客数の増大は、自動車の乗客数の減少にもつながると考えられます。その点を評価できるようにできないものでしょうか。また、できないとするとどこかに注釈を入れるとよいのではないのでしょうか。	京阪神都市圏パーソントリップ調査によれば、平成 12 年から 22 年にかけての 10 年間で、高槻地域のバスの利用は 62 千トリップ/日から 59 千トリップ/日へと 5% 減少し、自動車利用は 391 千トリップ/日から 334 千トリップ/日へと約 15% 減少しており、市バスの乗客数と自動車の利用数を結び付けて評価することは困難であると考えられ、何らかの記載については今後の検討課題と考えています。

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
32	75	たかつきエコオフィスプラン 紙購入量について	A4一枚で7グラムCO2とのデータがあります。100万枚で7トンなので、5千万枚は350トンとなります。市域から発生する二酸化炭素発生量124.6万トンからすると0.03%で、相対的にはあまり大きな数字とはいいたいです。	紙の購入量の削減や水道使用量などは、事業活動による省資源の取組の一環として行っており、二酸化炭素排出量の削減を主目的としていないことをご理解ください。なお、75ページの紙購入量は市立小中学校の、P74ページは市長部局の数量となり、両者を合わせると令和2年度は77,619千枚、二酸化炭素に換算すると540t-CO2となります。これは市の事務事業による二酸化炭素排出量70,783t-CO2の0.7%に相当することになります。
33	82、83	環境マネジメントシステム 省エネ診断について	アからウの表で、「%」表示がしてありますが、どの母数100に対する%か、分かりにくいです。	現在のエネルギー使用量から、改善提案の取組により期待される削減効果を「%」表示したものです。より分かりやすい記載方法を、今後は検討します。
34	91、94	環境保全 農業用水路の水質測定について	ア、ウ 水質調査地点に明治水路も追加してもらいたい。	公共用水域の測定地点について本年度に全般的な見直しを行った結果、明治水路につきましては、広域的に重要な農業用水路であることが確認されたことから、令和4年度の水質調査地点とする予定です。
35	98	環境保全 空間放射線量の測定について	(5)その他で前年まで空間放射線量の測定結果を掲載していたが、審議会やその他で何の報告も説明も行わず、止めているのは無責任です。「市民の安全・安心に資する」と銘打っていたのですから、再開を強く要請します。	空間放射線量の測定については、市内の定常状態を把握することを目的とし、空間中の放射線が人体に与える影響の程度を定期的に測定していたものです。各地点の測定結果の積み重ねにより定常状態を概ね把握できたこと、測定機器の耐用年数を迎えたことなどから、令和元年度末をもって測定を終了したものですので、ご理解ください。

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
36	103	廃棄物 ごみ減量について	「7 廃棄物」の項について。4 頁に「7 ごみ減量化推進計画」で、平成 26 年度実績値から 15%削減と記述されています。しかし、103 頁から 107 頁までの記述は、実施している施策が書かれているものの、P D C Aに耐えるような数値が一切書かれていません。これは、パブリックコメントにもあったように、北摂他市に比べて人口一人当たり排出量が多いことに関係するのではないのでしょうか。減量を達成するためのサブの施策および目標を明示して、どれだけ減量できたかを、見える化して初めて排出量が減ると考えられます。廃棄物減量等推進審議会では、緻密に検討されているのでしょうか。	ごみ減量に係る数値は、P7 の評価指標に係る表中「市民 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量」、「市民 1 人 1 日当たりの事業系ごみ排出量」として、実績を明らかにしています。また、個別施策とその取組については、P49、P50 に示しているところです。
37	110	廃棄物 犬のふん害対策について	犬のフン害対策ですが、だいぶ良くなったと感じるが、もっと飼い主へマナーアップをして行きたい。 色々な機会に街をクリーンにしましょうと訴えていきましょう。 併せて、公園や広場での鳩や野猫への餌やりを禁止しましょう。 食べ残しによって街や公園が汚れます。	犬のふんや動物へのえさやりはご指摘の通りマナーの問題が大きいと考えています。ご意見として、関係課に伝えます。
38	110	廃棄物 不法投棄対策について	少しの空き地があると不法投棄が行われている。 市役所職員によるパトロールだけでは、いたちごっこだと思います。 警察官や地域の方々をお願いして、巡回を強化するしかないと思います。特に夜間は警察署の特別パトロール月間を設けてもらい 重点的に取締をしてもらう手立てを考えましょう。	市民や自治会から空き地における不法投棄等の相談があった場合には、現地確認のうえ「空き地の清潔保持に関する条例」に基づき、占有者へ良好な生活環境の保全に努めるよう適宜指導を行っています。引き続き、適切な啓発に努めて参ります。

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
39	-	たかつきの環境に記載の図表の番号について	図表に番号を付けて頂きたいです。研究者がこの冊子の数値を引用するときに、番号がないと、引用しづらいともいえます。	現状では、図表には必ずしもタイトルを付している状況ではないことも含め、今後の検討課題とさせていただきます。
40	-	各種計画の関連性について	様々な計画やアクションプランがあるのですが、初見だとその関連性やすみわけなどがわかりにくいように思います。報告書ですので、個別の報告はそれでいいと思いますが、ただ単に計画を並べるだけではなく、全体像を示したほうが、高槻市として重点を置いているものや、関連する計画などがわかりやすいかと思います。これは可能なのかどうかわかりませんが、通常は行わないことはわかっていますが、主たる担当部署がどこか示すのもいいかと思っています。そうすることで、市民の市役所の仕事への理解が進むかもしれませんし、様々な課が横断的にかかわって環境に取り組んでいるということアピールできるのではないのでしょうか。	78 ページの環境マネジメントシステムの説明の中で、各種計画との関連性について示していますが、始めに全体像を示しておいた方が分かりやすいとのご意見と考えます。全体像を示す位置やその内容、担当部署の記載について検討して参ります。
41	-	全般について	各課題について、よくされていると思います。	ご意見ありがとうございます。引き続き、審議会でのご意見も踏まえながら、各種施策を進めて参ります。
42	-	全般について	「高槻市環境基本計画」等に基づく環境施策の実施状況、進捗状況について確認しました。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた施策もある中、各施策が着実に実施されていると認められます。	ご意見ありがとうございます。引き続き、審議会でのご意見も踏まえながら、各種施策を進めて参ります。

No.	ページ	項目	意見内容	対応方針
43	-	その他	50年前に名神を通すという話が出た時は、高槻市が拒否したので茨木にICが出来たとききました。何故今回は高槻に第二名神をつくったのか、わかりません。地元の方は「使い勝手悪い、なんであの位置なんや?」と言っています。必要だったのか?何が良くなったのか知りたいです。	新名神高速道路の整備については、名神高速道路や中国自動車道の慢性的な渋滞解消による利便性の向上、沿道地域の発展、阪神・淡路大震災のような災害時の緊急輸送ネットワークの確保等を目的として整備が進められているものです。 その効果としては、市民や事業者によっては、高速道路へのアクセス性が向上することで、広域的な移動・活動が容易になったことが挙げられます。また、市全体としては、広域的な利便性向上により、来街者の増加や産業の活性化にも寄与していると考えられます。

②「たかつきの環境」に対する市民意見と市の見解について

No.	意見番号	項目	意見内容	対応方針
1	13	5 環境保全のグラフの示し方について	おそらく、昭和50年のデータが載せられていることというよりも、単純に直線で平成28年のデータと結ばれていることから、連続したデータと見えるのが問題なのだと思います。比較データについてはプロットだけを載せる、あるいは直線に何か空いているところを入れるということが重要なのだと思います。こういったデータの示し方は散見されます。誤解を与える大きな要因だと思いますので、注意が必要だと考えます。	いただいたご意見のとおり、過去のデータと現在のデータを直線で結ぶことは誤解を与える要因にもなるため、示し方について検討します。
2	-	全般について	見解として「次年度作成時に検討します。」と書かれている項目については、前向きに検討していただくようお願いいたします。	「たかつきの環境」に対する様々なご意見については、次年度版の策定においてその対応を検討し、より分かりやすく充実した環境報告書となるように努めて参ります。
3	-	全般について	市の回答にある「次年度作成時」に検討、反映、参考などの記述があるので、確実に次回に反映して頂きたいと願います。	「たかつきの環境」に対する様々なご意見については、次年度版の策定においてその対応を検討し、より分かりやすく充実した環境報告書となるように努めて参ります。